



リサイクルQ&A

今回は、廃棄物の焼却・悪臭被害でよくある問い合わせを紹介します。

畜産フン尿や堆肥の野積みも不法投棄にあたる場合があります!!



Q1: 近所で家庭ごみを焼いている人がいて悪臭がします。

不法な野焼きによる火事も多く発生しています。ごみは正しく分別して収集所に出しましょう。



A1: 廃棄物の野外での焼却は罰則規定で3年以下の懲役または300万円以下の罰金が科せられます。



Q2: 畑に撒いた畜産フン尿（牛フン・豚フン・鶏フン）の悪臭で窓も開けられず、洗濯物も干せません。

畑に肥料として撒いた場合は速やかに耕運して臭気がしないようにしましょう。

A2: 作付け目的で畜産フン尿を撒いた場合は直ちに耕運することとなっています。地域の生活環境が損なわれることがないように悪臭の防止に努めましょう。



○農業系ビニール、家庭系ごみの悪質な野焼きは志布志警察署に通報します。TEL 72 - 0110
《問い合わせ先》大崎町役場福祉課環境係 TEL 76 - 1111 内線 133



保健師だより

『お母さんが育てる子どものこころ』

子どもはお母さんが大好きです。おなかの中から一心同体でお母さんの感情と一緒に体験して生まれてきたので、お母さんの事なら何でも分かります。お母さんが悲しいと子どもも悲しいし、お母さんが幸せだと子どもも幸せです。

子どもは、自分がお母さんに愛されているか、いつも気がかりです。うんと抱きしめて「好きだよ」と言葉で伝えてあげましょう。すると安心して自分のやりたい事に挑戦する事ができます。お母さんは子どもの安全基地です。不安になるとお母さんのひざに帰ってきて元気を取り戻し、また出かけて行きます。

また、子どもの話を聞くこと。これは、もちろん大切ですが、お母さんも自分のことを子どもに話しましょう。案外、きちんとお母さんの気持ちを理解してくれるので救われます。お母さんが本音で話してくれると、子どもも本音で話してくれるようになります。お互いの気持ち分かり合えると安心して話し合える前に進むこともできます。

「うちの子はわがままで家ではぐずったり、だだをこねたり、よく泣いたりするので困る」という話をよく聞きます。

昼間、保育所や幼稚園、学校などで頑張った分、子どもはストレスがいつぱいです。安心できる家族、特にお母さんの所に帰ってくると、閉じ込めていた感情があふれ出てくるのです。子どもは泣いたり、わめいたり、だだをこねたり、お母さんに話を聞いてもらったりすることでストレスが発散されて元気になり、次の日も頑張る事ができるのです。お母さんも仕事で疲れていたりで大変でしょうが、子どもが本音を出せるのは、お母さんや家族なのです。

泣いたり笑ったり話したり、自分の感情をしっかりと出せる子どもに育つこと、つまり自分のことをきちんと表現できる子どもに育てる事こそが自立した子どもを育てることにつながるのです。



健康に関する相談は、保健センターへお気軽にどうぞ!! TEL 76 - 1111 (内線 146・147)